

# 令和6年度 水沢農業高等学校教職員 働き方改革アクションプラン

水沢農業高等学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2024~2026)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

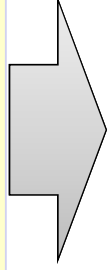
## 1 現状

**【定量的現状】**

- ◆ 「岩手県教職員働き方改革プラン(2021~2023)」目標達成状況
  - ・時間外在校等時間が月100時間以上の者は3年連続ゼロである。
  - ・昨年度の時間外在校等時間(週休日等の部活動除く)年360時間超えの職員の割合は25.7%(4人に1人)である。
- ◆ 年次休暇取得10日未満の職員の割合
  - ・昨年度は24.2%で、約4人に1人は与えられている年間年次20日のうちの半分すら取得せず、10日以上を消滅させている。

**【定性的現状】**

- 教職員の意識
  - ・時間外勤務している教職員が固定している。
- 管理職のマネジメント
  - ・業務の精選・見直しおよびライフ・ワークバランスを考慮した働きやすい職場づくりに努めているが課題も多い。



## 2 目標・目指す姿

県の働き方改革プランの目標を前提に、以下の目標を設定します。

**【学校独自の目標】**

- 職員一人当たりの月平均時間外在校等時間20時間以下を目指します。(R5:25.2時間)
- 年次休暇取得10日未満の職員の割合0%を目指します。

**【目指す姿】**

- ・質の高い教育を図る観点から働き方を見直している。
- ・教職員が、やりがいを感じながら業務に取り組んでいる。
- ・教職員が、家庭のための時間や自由時間を確保できている。
- ・農場経営規模の適正化により負担の少ない管理となっている。

## 3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

(1)	<b>教職員の健康管理</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の計画的な休暇取得推進のために、管理職が積極的に呼びかけを行います。</li> <li>・健康確保の観点から、月の時間外在校等時間が45時間を超えそうな職員には、管理職が声かけや面談を実施します。</li> </ul>
(2)	<b>学校における業務改善の推進</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用、ペーパーレス化、データ共有化により、業務の効率化推進を継続して進めます。</li> <li>・業務の優先度を考え、これまでの業務を積極的に精選します。</li> </ul>
(3)	<b>業務の明確化・適正化の推進</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革の取組について、保護者や地域の理解へつなげる情報発信を行います。</li> <li>・休日の部活動については、部活動指導員の協力をいただきながら活動します。</li> </ul>
<b>令和6年度重点取組事項</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度から新たに年次休暇等使用(年間)計画表の活用に取り組みます。</li> </ul>

## 4 アクションプランの周知方法

- ・プランを学校のHPIに掲載し、地域・保護者に対してプランの内容を周知します。
- ・職員会議でプランを説明し、教職員に対してプランの内容を周知します。